

一般会計総額

4億8,666万円の使い途

3月の御代田町議会定例会。ここで平成18年度の当初予算が可決されました。自律・協働のまちづくり推進計画、第4次長期振興計画を基本とし、限られた財源の中、必要性、事業効果、緊急性などを十分に検討し、予算編成を行いました。

一般会計

一般会計の予算額は、歳入歳出それぞれ46億8,666万円で昨年に比べて1億308万円、2.2%の減となりました。

今年度の新規事業は、合併50周年記念式典関係経費、廃止路線代替バスに変わる新たな交通体系を確立するための新交通システム調査・研究費、乳幼児医療費の就学前までの引き上げ、児童手当の小学校修了までの引き上げ、地球温暖化防止策の一環として推進している新エネルギーの導入に対する奨励金、雪窓湖の整備を行なうための基礎調査である団体営調査設計事業経費、道路の維持修繕計画による御代田佐久線他補修工事、向原27号線の舗装新設工事、南北小学校開校30周年記念事業補助金などがあります。

【歳入】

歳入は昨年に比べて町税が7,950万円の増(14.2%)、地方譲与税が7,302万円の増(154.7%)、地方交付税が6,178万円の増(15.2%)、国庫支出金6,697万円の減(△31.8%)、県支出金3,618万円の増(12.0%)、基金繰入金1億7,810万円の減(△60.6%)、町債が9,800万円の減(△32.9%)です。

国の三位一体改革の推進に伴い厳しい財政運営を余儀なくされていますが、財源の推計を行い、歳入を最大限見込んだ予算となっています。

【歳出】

議会費では、議員定数の削減により782万円の減少となりました。総務費は、戸籍電算化経費、町長選挙、県知事選挙経費を

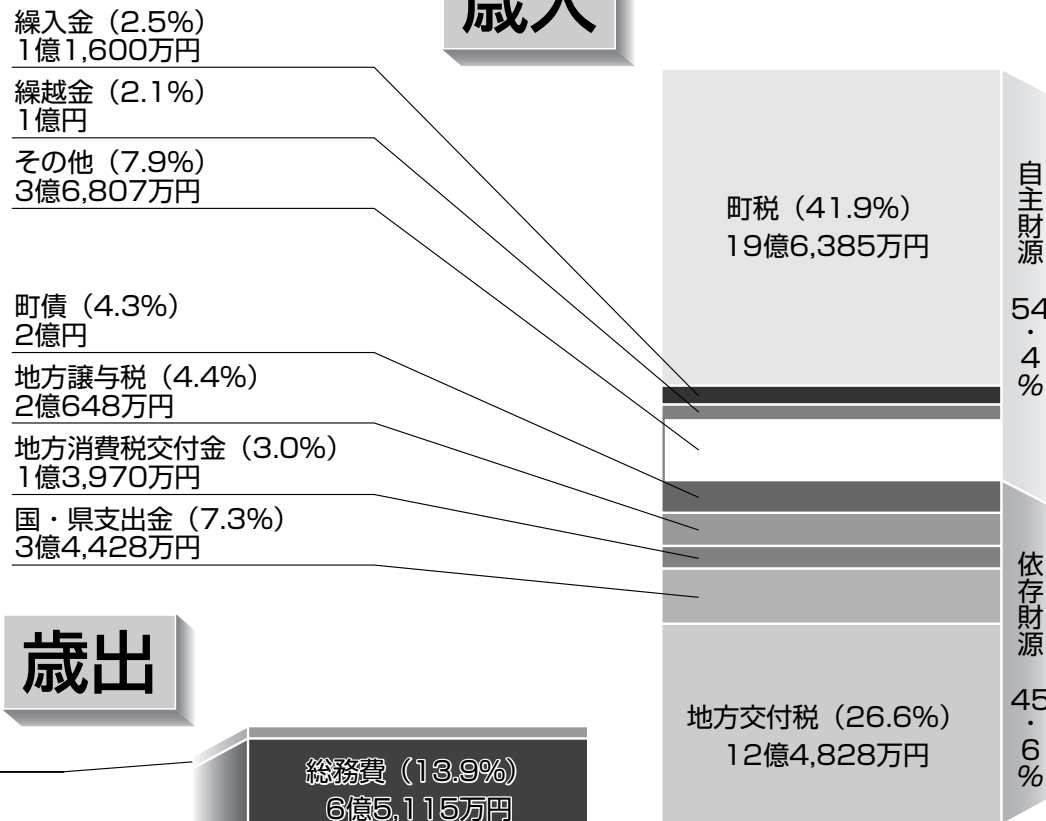
計上し、全体で前年比6,626万円減です。

民生費では、国民健康保険、老人保健、介護保険の各特別会計への繰出金の増、乳幼児医療費の就学前までの引き上げ、児童手当の小学校修了前までの引き上げなどにより1億648万円の増加となっています。

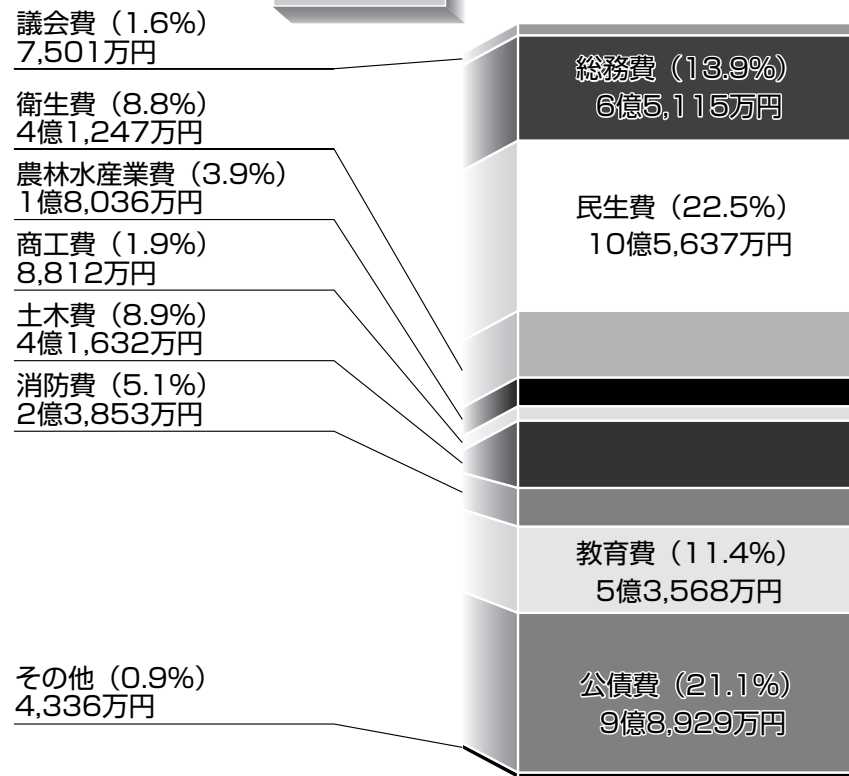
衛生費では、昨年度補正予算で対応いたしました廃棄物処理施設共同事業経費、浅麓環境施設組合負担金などにより2,935万円の増です。

農林水産業費では、基盤整備促進事業の終了などにより、全体で3,726万円の減です。商工費は、工業振興奨励補助金の増などにより2,216万円の増加となっています。教育費につきましては、南小学校教室増築工事が終了したことにより、1億4,671万円の減となっています。

歳入



歳出



ワンポイント

町の予算は、入ってくるお金と使うお金は同額で組まれています。歳入のうち、依存財源は、国や県に頼っているお金。自主財源は御代田町だけで用意できるお金。約45%を国や県に頼っています。他市町村と比べた場合、御代田町の依存割合は少ない方になります。

用語をチエック

歳出編

- 議会費：議会の運営に使うお金です。
- 総務費：一般事務経費や財産管理などに使う費用です。選挙や広報に使うのもこのお金です。
- 民生費：福祉の増進に使う費用です。老人・障害者・児童福祉など欠かさないお金です。
- 衛生費：ゴミ処理や健康診断、予防接種に使うお金です。
- 農林水産業費：農業・林業の振興に使うお金です。
- 商工費：商業・工業の振興に使うお金です。
- 土木費：道路や公園をつくるお金です。町営住宅の管理なども含まれます。
- 消防費：消防・防災にかかるといえます。
- 教育費：学校教育、生涯学習に使うお金です。
- 公債費：町の借金を返すお金です。
- その他：労働費、災害復旧費、諸支出金の合計です。

用語をチエック

歳入編

- 町税：皆さんが町へ納めた税金です。
- 地方譲与税：国税である自動車重量税などが、一定の割合で町に交付されたお金です。
- 地方交付税：町の財政力に応じ、国から交付されるお金です。
- 国・県支出金：特定の事業の経費にあてるよう、国・県から交付されるお金です。
- 分担金および負担金：特定の事業の経費にあてるため、その事業により特別な利益を受ける人や原因者が納めるお金です。
- 繰入金：一般会計、特別会計、基金間でやりとりされるお金です。
- 町債：大きな事業をするときに、町が借入るお金です。いわゆる借入金です。
- その他：使用料、手数料、財産収入、寄付金、諸収入の合計です。